

西日本フィナンシャルホールディングス

西日本FHD

ミニディスクロージャー誌 2018年3月期 2017年4月1日～2018年3月31日



©GROOVISIONS



特集1 地域に密着！太宰府編

明治維新150年

太宰府が見た幕末

知られざる維新回天の地

特集2

2018年成年ランク祭り「展開中



ココロがある。 コタエがある。

私たちは、「さらなる飛躍に向けた基盤拡大に取り組み、

お客さまに選ばれる地域金融グループを目指す

『グループ総合金融力の進化』ステージ』をコンセプトとする

中期経営計画「飛翔2020」知恵をしぼろう」の下、

さまざまな取り組みを進めています。

これからもお客さまと地域の未来のために、

「ココロ」をひとつに知恵を絞り、

ベストな「コタエ」をお届けすること。

それが私たちの変わらぬ使命です。

総合力No.1の地域金融グループを目指して、

西日本FHグループの挑戦は続きます。



C o n t e n t s

3 ごあいさつ
**グループ総合金融力の
進化を目指して**



5 **特集1**
地域に密着!—太宰府編—
明治維新150年
太宰府が見た幕末



9 **特集2**
2018年戌年
「ワンク祭り」展開中

11 **グループ一丸となった**
「まるごとサポート」の展開

17 **ESGへの取組み**



22 **安心に向けた取組み**

23 **業績ハイライト**

25 **プロフィール・ネットワーク**

西日本フィナンシャルホールディングス
ミニディスクロージャー誌
2018年3月期
[2017年4月1日～2018年3月31日]

グループ総合金融力の進化を目指して

皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜っており、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、「さらなる飛躍に向けた基盤拡大に取り組み、お客さまに選ばれる地域金融グループを目指す」「グループ総合金融力の進化」「ステージ」をコンセプトとする中期経営計画「飛翔2020」知恵をしばろう」の下、さまざまな取組みを進めています。

わが国の経済と九州経済の概況

2017年度のわが国経済は、雇用情勢・企業収益の改善を背景に個人消費の持ち直しや設備投資の増加などを受け、緩やかな回復局面が続きました。

当社グループの地元である九州においても、2017年7月九州北部豪雨に

伴い一時的に観光面への影響が見られたものの、雇用・所得情勢の持ち直しや旺盛な海外需要を背景に生産・輸出が高水準で推移するなど、緩やかな回復基調が継続しました。

グループ丸となった「まるごとサポート」の展開

企業まるごとサポートの進化

法人のお客さま向けには、ライフサイクルに応じたさまざまなニーズを起点に、「企業まるごとサポート」をコンセプトとして、最適なサービスの提供に努めました。

創業支援については、創業期のお客さまからのさまざまなご相談におこたえする「NCB創業応援サロン」を、2017年11月、北九州エリアに設置しました。これは、福岡に続く2か所目の拠点です。

また、2017年12月、九州の地域金融機関として初めて株式会社東京証券取引所と「資本市場に関する連携についての基本協定」を締結しました。

国際ビジネス分野については、「アジア

経済の変遷と今後の展望」や「アジアにおける九州企業のビジネス展開」をテーマにセミナーを開催するなど、地元企業に海外ビジネスに関する最新情報をお届けしています。

人生まるごとサポートの進化

個人のお客さま向けには、ライフステージから生じるさまざまなニーズを起点に、「人生まるごとサポート」をコンセプトとして、最適なサービスの提供に努めました。

西日本シティ銀行及び西日本シティT証券は、長期での資産形成を目指すお客さまのニーズにおこたえするため、「つみたてNISA」を取り扱っています。

また、相続・事業承継に関する専門窓口である「NCBプレミアラウンジ」を「西日本FH北九州ビル」に新設しました。

地域まるごとサポートの展開

地域のお客さま向けには、「地域まるごとサポート」をコンセプトとして、さまざまな地域活性化策を展開しました。

2017年12月には、大分県別府市



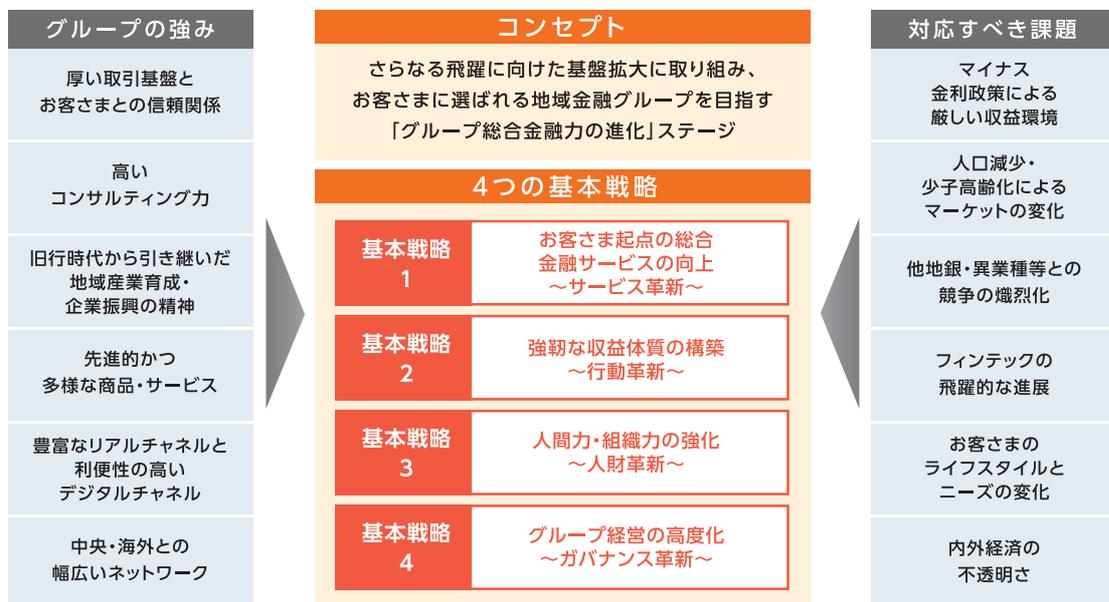
西日本フィナンシャルホールディングス
取締役社長(代表取締役)
谷川 浩道

中期経営計画の概要【計画期間：2017年4月～2020年3月】

「飛翔2020～知恵をしぼろう～」

グループ経営理念

高い志と誇りを持って時代の変化に適応し、お客さまとともに成長する総合力No.1の地域金融グループ



との間で、観光振興を軸とした地域全体の活性化に向けた「観光振興連携協力に関する協定書」を締結したほか、「産学連携協力に関する協定書」を締結しました。これにより、産学連携の協定

2018年2月には、久留米工業大学と

先は10校となりました。

また、地域の学校などへ図書やスポーツ用品などの物品を寄贈する機能がついた地域応援私募債「つなぐココロ」の引受けを通じて、社債を発行した企業とともに、九州地域の未来を担う子供たちの学びや成長を支援しました。

「ベストミックスのチャネル」の実現

西日本シティ銀行は、高度化・多様化するお客さまの金融ニーズにワンストップでお応えするため、既存店舗の「まるごとサポート店舗」へのリニューアルを進めました。その代表的なものが2017年11月にオープンした「西日本FH北九州ビル」です。このビルには、北九州営業部に加え、前述の「NCB創業応援サロン」や、証券業務、保険業務、リース業務を取り扱うグループ会社・親密会社の支店が入居しています。このほか、三萩野、白木原、春日、室町、千早、荒江の各支店もリニューアルオープンしました。

西日本シティ銀行の証券は、営業拠点を19か所にまで拡大し、銀証連携ネットワークのさらなる広域化に取り組みました。

デジタルチャネルについては、「西日本シティ銀行アプリ」に株式会社NTTデータ（以下、NTTデータ）が開発した

次世代アプリ「MyPanel」を導入し、収支状況をグラフ等で直感的に把握できるPFMサービス（いわゆる家計簿サービス）を搭載するなど、さらなる機能強化を行いました。

そのほか、2017年4月に新設した「オープン・イノベーション推進室」が中心となり、NTTデータとの連携の下、「共同利用型チャットボット」や「銀行口座を利用したスマホ決済サービス」の実証実験を実施するなど、フィンテックを活用したより便利なサービスの開発に取り組んでいます。

グループ総合金融力の進化に向けて

当社グループを取り巻く経営環境は、超低金利環境の継続、ICTの急速な進展、銀行法等改正に伴う規制緩和などにより、大きく変化し続けています。

こうした環境の下、私どもは、グループの連携を一層強め、お客さまの期待を超えるサービスを提供してまいります。そして、そのことにより、お客さま、地域の皆さまとともに成長する総合力No.1の地域金融グループを目指してまいります。

皆さまにはどうか、一層のご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

明治維新150年

太宰府が見た幕末

知られざる維新回天の地

今年、明治維新150年。幕末に関連したイベントが各地で開催されています。

実は太宰府も幕末から明治維新にかけて重要な役割を果たした場所。

京都を追放された尊王攘夷派の公家5人が太宰府に滞在し、

西郷隆盛や坂本龍馬ら勤王の志士たちと交流を深めたと伝えられています。

知られざる物語を秘めた太宰府で、しばし幕末にタイムトリップしてみました。

月照が太宰府に遺した歌

幕末の舞台といえば、京都や江戸、または薩摩や長州が思い浮かびます。しかし、太宰府もまた、幕末期の維新回天の舞台として重要な役割を果たした土地であることをご存じでしょうか。

幕末の太宰府に最初のスポットが当たるのは、安政の大獄が始まった1858年。清水寺成就院の僧侶で、かねてより勤王の志があつた月照は、幕府の捕縛の手が迫ったため京都を脱出。盟友の西郷隆盛を頼って薩摩へ下る途中、太宰府の「松屋」に数日間逗留しました。

松屋は薩摩藩の定宿であり、当主の栗原孫兵衛は「商人にして夙に義侠心に富たり」と評された人物。薩摩や長州の勤

1

1 薩摩藩の定宿だった「松屋」。江戸末期に開業したとみられ、昭和9年に旅館を廃業。現在は土産物店と喫茶店として営業しています。2 幕末の雰囲気濃厚に残した、裏庭からの眺め。3 4階は旅館時代の間取りをそのままに残しています(一般非公開)。



王の志士とも広い交流がありました。幕府に追われる身となった月照を、孫兵衛は裏屋に匿い、宝満山の紅葉見物に案内するなど、懇ろに歓待しました。

苦難に満ちた薩摩落ちの道中で、孫兵衛の温情に月照はどれほど感謝したことでしょう。松屋を去るにあたり、月照の詠んだ歌が今も残されています。

言の葉の花を

あるじに旅寝する

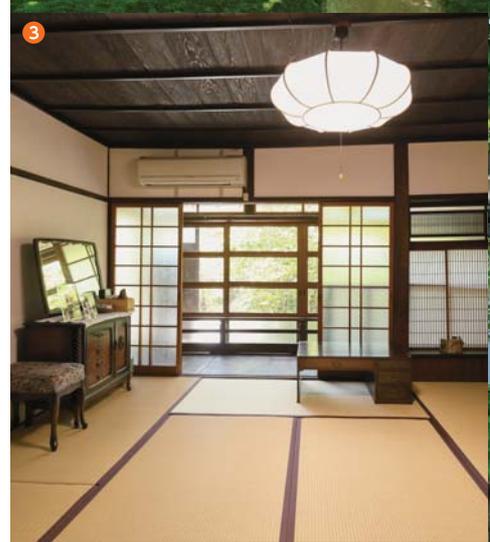
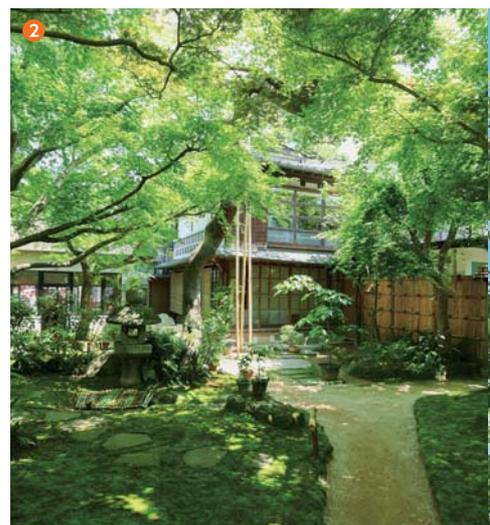
この松かげは

千代も忘れじ

その後、薩摩まで落ち延びた月照が、薩摩藩から受け入れを拒まれ、西郷と共に錦江湾で入水（西郷は奇跡的に生存）したことは、今年のNHK大河ドラマ「西郷どん」でも名場面として話題になりました。幕末の悲劇として知られるエピソードの陰には、月照と孫兵衛の心温まる交流があったのです。

勤王志士は太宰府をめざす

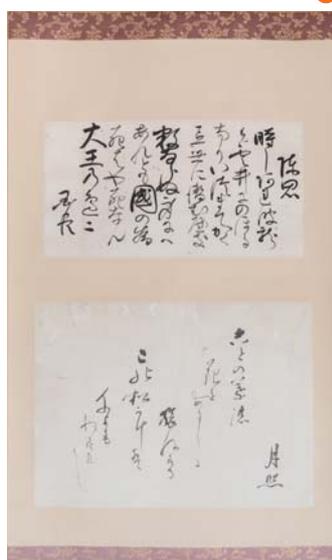
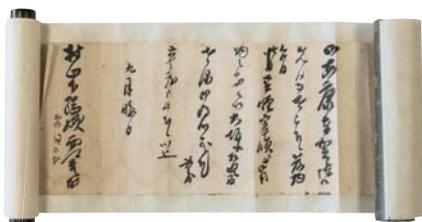
時代は少し下って1865年、三条実美ら5人の公家が太宰府へやってきました。1863年の「八月十八日の政変」により、尊王攘夷派の三条ら7人の公家は、朝廷を追放され長州へ下ることになりました（七卿落ち）。その後の長州征伐の講和の条件となったのが、7人のうち5人の公家（2人は死亡および逃亡）の長州藩からの退去でした（五卿動座）。



五卿は太宰府の「延寿王院」へと移り、王政復古の大号令が発せられるまでの約3年間に太宰府で過ごしました。延寿王院で幽閉される生活でしたが、四書五経の閲読や連歌奉納、馬術や鉄砲の射撃訓練など、日々の鍛錬を怠らず、朝廷復帰に備えていたといわれます。

この当時の五卿といえば、尊王攘夷派のシンボリックな存在であり、勤王志士たちの精神的な支柱でもありました。西郷隆盛や木戸孝允、伊藤博文、坂本龍馬など、錚々たる顔ぶれが、五卿との面会を求めて太宰府を訪れました。

例えば、五卿の一人・東久世通禧は坂本龍馬と面会し「土州藩坂本龍馬面会、偉人なり、奇説家なり」と、その稀有な人物像を絶賛したことが『東久世伯爵公用雑誌』に記録されています。勤王志士と五卿との交流が、維新回天の大きなエネルギーとなっていたのです。



5 松屋の2階に掲げられている掛け軸。下の書が、月照が薩摩へ立つ折に孫兵衛へ残した直筆の短歌。繊細で流麗な筆跡が印象的。上の書は尊王攘夷派の福岡藩士・平野国臣の書。6 松屋に残されている、大久保利通（一蔵）が元薩摩藩士の中井弘蔵に宛てた書状。7 同じく、西郷隆盛（吉之助）が元薩摩藩士の村山下総に宛てた書状。8 松屋6代目当主の栗原雅子さん。「ご先祖が残してくれた歴史的な遺産を、後世まで伝えていけたらいいですね」と話してくれました。



現在に残る幕末の面影

今、太宰府天満宮の参道を歩くと、幕末の面影が随所に残されていることに気がつきます。月照を匿った「松屋」は、孫兵衛から数えて6代目の当主となる栗原雅子さんが、土産物店と喫茶店を営んでいます。店の裏庭には、木々に囲まれて月照の歌碑がひっそりと佇みます。

その隣には長州藩の定宿だった「大野屋」(現在は「宰府まめや」と「大宰府陶房・晴」)、さらに隣には土佐藩の定宿だった「泉屋」(現在は「梅園」)の建物があります。そのまま参道を進めば、突き当りは五卿が過ごした延寿王院。幕末の偉人たちは、どんな想いを抱いてこの道歩いたのでしょうか。観光客が行き交う雑踏のなかに、ふと彼らの熱き血潮を感じた気がしました。

◎参考文献／「アクロス福岡文化誌9 福岡県の幕末維新」竹川克幸 編著(海鳥社)

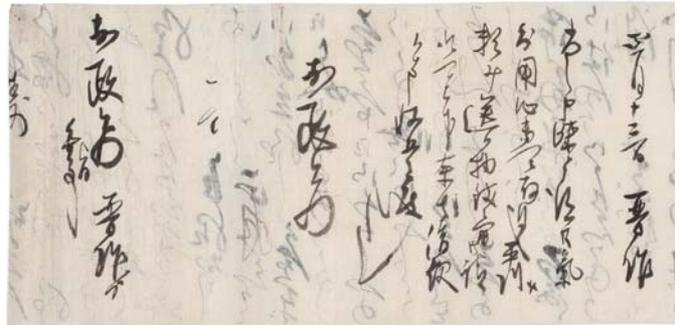


七卿都落之図(部分) 近代 太宰府天満宮所蔵 ①

① 幕末の有名な事件の一つである七卿落ちの様子を描いた図。長州に落ち延びた7人のうち5人が延寿王院に移送されました。② 高杉晋作の直筆書状。妻まさを思いやる心情が書かれています。③ 五卿が約3年間を過ごした延寿王院には、「五卿遺蹟」と書かれた石碑も建立されています(一般非公開)。



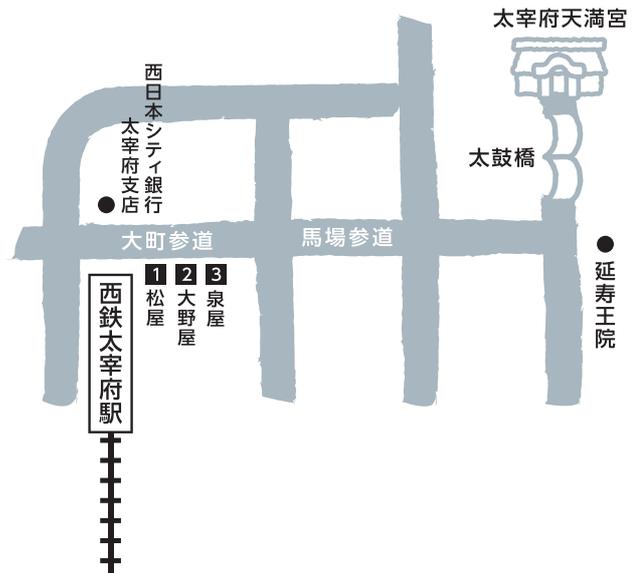
③



高杉晋作書状(部分) 妻まさ宛 文久2年 太宰府天満宮所蔵 ②



- ① 薩摩藩の定宿だった「松屋」。喫茶スペースで、月照の短歌や西郷隆盛の書状の複製を見ることができます。
- ② 長州藩の定宿だった「大野屋」には伊能忠敬も宿泊したとか。
- ③ 土佐藩の定宿だった「泉屋」には中岡慎太郎らが宿泊。



太 宰 府 そ ぞ ろ 歩 き

幕末、尊王攘夷派の五卿や維新の志士たちが訪れた太宰府は、かつて九州の政治・文化の中心でもありました。太宰府天満宮から大宰府政庁跡へとそぞろ歩けば、遙かな歴史を物語る史跡や名所の数々に出会えます。

太宰府天満宮 (ださいふてんまんぐう)



菅原道真公を祀る全国約1万2,000社の総本宮。「学問・至誠・厄除けの神様」として全国に知られています。11月25日(日)までは、宝物殿にて「明治維新150年太宰府幕末展」を開催中です。

住所：太宰府市宰府4-7-1

九州国立博物館 (きゅうしゅうこくりつはくぶつかん)



「日本文化の形成をアジア史的観点から捉える」をコンセプトに、九州初の国立博物館として開館。ほぼ毎週展示替えがある文化交流展示室やバックヤードツアーの開催などが人気です。

住所：太宰府市石坂4-7-2
TEL：092-918-2807(代表)

宝満宮 竈門神社 (ほうまんぐう かまどじんじゃ)



1350年以上の歴史があり、「縁結び」の神様として若い女性を中心に多くの参拝者が訪れます。四季折々の緑豊かな情景や、伝統建築と現代的なデザインが融合した授与所などが見どころです。

住所：太宰府市内山883

観世音寺 (かんぜおんじ)



日本最古といわれる梵鐘の音色は「日本の音風景100選」にも選定されています。平安時代から鎌倉時代にかけての仏像など多くの重要文化財が収蔵され、西日本最高の仏教美術の殿堂とも称されています。

住所：太宰府市観世音寺5-6-1

大宰府政庁跡 (ださいふせいちょうあと)



奈良から平安時代にかけて九州を治め、外交や軍事、経済を担った役所「大宰府」が置かれていました。役所の中心だった場所には今も建物の礎石が残り、緑豊かな公園となっています。

住所：太宰府市観世音寺4-6-1

太宰府観光列車「旅人(たびと)」



列車に乗ったら、
そこが太宰府。

車体には太宰府の観光名所や太宰府に咲く四季の花々が、車内には5つの開運文様が描かれた太宰府づくしの観光列車が「西鉄福岡(天神)～太宰府」、「西鉄二日市～太宰府」を運行しています。
※運行時間などはHPをご覧ください。
<http://www.nishitetsu.jp/train/tabito/>



モチーフは太宰府政庁跡から出土した鬼瓦。サクサクの皮に上品な甘さの自家製つば餡がたっぷり詰まっています。

◎大宰府参道 天山
TEL：092-918-2230

鬼瓦最中



天神様の御神鳥「鶯(うそ)」にちなんだ、爽やかな青じそ風味の縁起餅。博多人形のうそ鳥のおまけ付き。

◎梅園菓子処
TEL：092-922-4058

うその餅



梅干しそっくりの見た目がユニーク! ピーナッツを梅酢で味付けした、お茶請けにぴったりの豆菓子です。

◎宰府まめや
TEL：092-925-0181

梅酢豆



明治期に太宰府天満宮の参道で提供されていた宰府うどんを再現。石臼挽き的小麦粉を使った滋味あふれるおいしさです。

◎さいふうどん 木村製麺所
TEL：092-922-0573

さいふうどん



飛び梅が美しく描かれたがま口、色柄もサイズもいろいろ。柄違いで何種類も揃えたいくなる可愛さです。

◎創作ちりめん 布遊舎
TEL：092-921-8121

梅柄がま口



太宰府天満宮の御神木「飛梅」の香りをイメージした太宰府限定のお香。外国人観光客にも大人気です。

◎ざやらり 楓(ふう)
TEL：092-920-2332

梅の香

太宰府のお土産といえば「梅ヶ枝餅」が有名ですが、それ以外にもご当地商品がたくさんあります。その一部をご紹介します。

90軒以上のお店が並ぶ
太宰府前町 見処・食べ処

2018年戌年「ワンク祭り」展開中
 企業イメージキャラクター「ワンク」が登場するさまざまな企画をご紹介します。

ワンク祭り

展開中

2018年の干支は、戌年！戌年にちなんで、西日本シティ銀行の企業イメージキャラクター「ワンク」がいろいろな場所に登場する「ワンク祭り」(※1)を昨年末から展開しています。

(※1)「ワンク祭り」：2018年の干支「戌年」にちなみ、キャラクター「ワンク」を活用したプロモーション企画。西日本シティ銀行をはじめ西日本FHグループ各社が一体となり展開中。

特設WEBページ 「ワンクサイト」	「ワンク」 年賀状テンプレート	「ワンク」カレンダー
<p>2017年11月1日～ 「ワンク祭り」の概要が一目でわかる専用サイトを西日本シティ銀行のホームページに開設。</p>  <p>※ホームページの様子</p>	<p>2017年11月1日～終了 西日本シティ銀行のホームページから無料でダウンロードできるワンクの年賀状プレートを配布。</p>  <p>※テンプレート</p>	<p>2017年11月15日～終了 西日本各地の祭りをワンクが巡る2018年のカレンダーを配布。</p>  <p>※なくなり次第終了</p>
「ワンク」 プロモーションムービー	「ワンク」ぬり絵コンクール	「ワンク」LINEスタンプ
<p>2017年11月中旬～ 「ワンク」のプロモーションムービーを西日本シティ銀行のホームページやYouTubeで放映中。</p> 	<p>2017年12月6日～2018年1月26日 応募部門(①幼児の部②小学生低学年の部③小学生高学年の部)ごとにワンクのぬり絵を募集し、コンクールを開催。受賞作品を西日本シティ銀行HPに掲載中。</p>  <p>http://www.ncbank.co.jp/lp/201801_wank/vol4/index.html</p>	<p>2017年12月22日～ デザイン集団GROOVISIONSがデザインしたかわいいLINEスタンプを提供中。</p> 
博多人形「金のワンク」 プレゼント	「ワンクオブジェ」の設置	金融リテラシー 教育イベント
<p>2018年1月4日～終了 博多人形の「金のワンク」をお正月の縁起物として西日本シティ銀行や長崎銀行の営業店や西日本FHグループ各社で先着1万名様に配布。</p> 	<p>2018年1月4日～ 西日本シティ銀行や長崎銀行の営業店のロビーや西日本FHグループ各社の受付などに各部署が工夫を凝らした「ワンクオブジェ」を設置中。</p> 	<p>2018年3月31日・4月1日 福岡市科学館で開催された「ワークショップIn福岡2018」で「お金のがっこう」などのイベントを開催。</p> 

春休み期間中の 「金融リテラシー教育」 への取り組み

西日本シティ銀行は、「ワンク祭り」の展開策として春休み期間中の2018年3月31日、4月1日の2日間、福岡市科学館で開催された「ワークショップコレクションin福岡2018」(※2)に参画しました。会場では「金融リテラシー教育」(※3)への取り組みとして、「お金のがっこう」などさまざまなイベントを開催しました。

(※2)「ワークショップコレクション」・東京・仙台・大阪など全国各地で開催されている子どもたちの学びにつながるワークショップ博覧会。福岡では2日間で24000人が来場。
(※3)「金融リテラシー教育」・金融や経済に関する知識や判断力を身につける教育。

イベント 1 第12回 「お金のがっこう」 「お金のクイズ大会」

第12回目となる「お金のがっこう」は、「お金のクイズ大会」〜クイズに正解しお金を貯めよう〜と題し、小学生を対象に、行員が講師となりお金や銀行にまつわるクイズを出題しました。

子どもたちはクイズに正解するごとに「貯金箱にお金を貯める」という体験を通して、楽しくお金や銀行について学習しました。



イベント 3 「段ボールで ダイヤル式金庫を作ろう」 (協力：大国段ボール工業株)

西日本シティ銀行行橋支店お取引先の大国段ボール工業株とのコラボレーションにより、段ボールでダイヤル式金庫を作るワークショップを開催しました。

参加を希望する子どもたちが多く、開場15分で受付終了になるなど、大人気のコーナーとなりました。参加した子どもたちは講師の寺澤社長と会話をしながら熱心に段ボールを組み立てていました。



イベント 2 「銀行窓口体験」 VR体験

会場内の「西日本シティ銀行ブース」では、銀行の入出金業務を行う窓口体験や1億円の重さ体験のほか、銀行店舗を360度見ることが出来るVR体験を行いました。
2日間で延べ9000名の子どもたちが参加し大盛況でした。



イベント 4 「ワンクぬり絵コンクール」 表彰式開催

「ワンク祭り」の展開策の一つとして募集したワンクのぬり絵は、全国から518通の応募があり、グランプリ・準グランプリ・審査員特別賞に選ばれた18名の子どもたちを会場のメインステージで表彰しました。
表彰式では子どもたちに賞状と記念品を授与したほか、選ばれた作品は「西日本シティ銀行ブース」に展示して披露しました。



高度化・多様化するお客さまの金融ニーズにおこたえします。
グループ丸となった「まるごとサポート」の展開

西日本シティ銀行

つみたてNISA(ニーサ)の 取扱開始

西日本シティ銀行では、2018年1月の「つみたてNISA」制度開始に伴い、同口座での積立投資信託の購入申込受付を開始しました。

つみたてNISAは、長期・積立・分散等を通じた資産形成を応援する、新たな少額投資非課税制度のことで、非課税のメリットを受けながら、効率的に資産を形成する効果が期待できます。「非課税枠を利用して長期、賢く運用したい」「運用のコストを抑えたい」というお客さまにおすすめの商品です。

※詳しくは、西日本シティ銀行のつみたてNISA相談員までお尋ね下さい。



「つみたてNISAは、こんな方におすすめです!」

- 非課税枠を利用して賢く運用したい
- 長期間・コツコツ運用したい
- どの商品で運用すればいいかわからない…

「つみたてNISA 3つのポイント」

新たな少額投資非課税制度『つみたてNISA』を活用して、将来に備えた『資産形成』をはじめましょう!

非課税期間は20年間!
※非課税枠年間40万円(最大800万円)

40万円 × **20年間** = **800万円**

積立方式で定期的に買い付けることでリスクを軽減!

国が選んだ低コスト商品・申込手数料は0円!

積立投資のメリット
時間を分散して、リスクも分散

価格の上下に関わらず、定期的に一定金額ずつ購入すると、価格が高いときには少なく、安い時には多く買えるため、平均購入単価を下げることが期待できます(ドルコスト平均法)。

(例)ドルコスト平均法~毎月1万円ずつ4か月間購入した場合~				
	1ヵ月目	2ヵ月目	3ヵ月目	4ヵ月目
1万円あたりファンドの価格(購入口数)	10,000円 (10,000口)	5,000円 (20,000口)	15,000円 (6,667口)	5,000円 (20,000口)

毎月1万円ずつ購入(積立投信)	
平均購入単価	7,059円
購入口数 計	56,667口
購入金額 計	40,000円

一度に4万円購入した場合	
平均購入単価	10,000円
購入口数	40,000口
購入金額	40,000円

【投資信託ご留意事項】○投資信託は預金商品ではなく、元本の保証はありません。○投資信託は各商品が投資している株式・債券・リート等の価格変動、また為替の変動等により、損失を被り、投資元本を割り込む恐れがあります。○投資信託をご購入の際は、最新の目論見書等を必ずご覧いただき、内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号等:株式会社西日本シティ銀行 登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第6号 加入協会:日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

※内容は2018年6月現在のものであり、今後の税制改正等により変更となる場合があります。

西日本シティ銀行

九州カード

西日本シティ銀行と九州カードが共同

ANAマイレージクラブ機能搭載 「JCBカード」を発行

西日本シティ銀行と九州カードは共同で、ジェーシービー及び全日本空輸と提携し、ANAマイレージクラブ機能を搭載した「JCBカード」を、2017年6月1日より取扱開始しました。

本カードは、国内外でポイントが貯まりやすい「JCBオリジナルシリーズ」のサービスに加え、フライトやAMC提携パートナーでのご利用でマイルが貯まるなど、ANAマイレージクラブ会員に提供されるさまざまなサービスもご利用いただけます。今後も西日本FHグループ各社と連携し、お客さまのさらなる利便性・サービス向上に取り組んでまいります。

ポイントもマイルもこれ1枚

JCBオリジナルシリーズ機能と
ANAマイレージクラブ機能を1つのカードで

西日本シティ銀行

ローンの商品性向上・

ローンご返済窓口を設置

Webで申込可能な ローン商品の拡充

西日本シティ銀行は、「ローン契約のために来店する時間が取れない」などのお客さまからいただいたご意見におこたえするため、2017年9月、Web上でご契約が完了する商品を7商品に拡充しました。

また、これまで「電話」「FAX」「ATM」からお申込みいただいたお客さまには、ご契約の手続きの際にご来店いただいていたのですが、Web上でも契約手続きができるようになりました。なお、土・日曜日でもご契約手続きができる「ローン営業室」もご利用いただけます。

ローンご返済相談窓口の設置

西日本シティ銀行は、ローンのご返済にお困りのお客さまへのご相談窓口「ローンご返済相談窓口」を設置してまいりますので、お気軽にご相談ください。

ローンのご返済に
お困りの皆さまへの
相談窓口

ローンご返済相談窓口

☎0120-014-862

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00
(祝日及び銀行休業日は除きます)



- ✓ ご記入不要
- ✓ ご印鑑不要
- ✓ ご来店不要

お車を購入されるなら
EZマイカーローン
詳しい内容とお申込みはコチラ!!

計画的に使うなら
EZフリーローン
詳しい内容とお申込みはコチラ!!

繰り返し使うなら
EZキャッシュエース
詳しい内容とお申込みはコチラ!!

西日本シティ銀行

NCBリサーチ&コンサルティング

第10回「アジアセミナー」を開催

西日本シティ銀行とNCBリサーチ&コンサルティングは、2017年11月1日、第10回「アジアセミナー」を開催しました。

10回目となる今回は、「アジア経済の動向や日本企業の事業機会の見通し等」についての最新情報をお伝えしました。

第一部の基調講演では、公益財団法人国際金融情報センターの加藤 隆俊顧問が「アジア経済の変遷と今後の展望」と題し、解説されました。第二部では、「アジアにおける九州企業のビジネス展開」と題し、中国・ASEAN地域でのビジネス展開に豊富な経験を持つ講演者2名による事例発表が行われました。

今後、海外ビジネスのホットな情報を地元企業や地域の皆さまに広くお伝えしてまいります。



第10回「アジアセミナー」

モデレーター 平松 拓 氏
(九州大学大学院経済学研究院 教授)

講演者 加藤 隆俊 氏
(公益財団法人国際金融情報センター 顧問)
坂井 秀之 氏
(協和機電工業株式会社 代表取締役社長)
大久保 則夫 氏
(大石産業株式会社 代表取締役社長)
※役職名等は開催時のものです。

AGREEMENT

西日本シティ銀行

福岡労働局と

「働き方改革に係る

包括連携に関する協定」を締結

西日本シティ銀行は、2018年3月7日、福岡労働局と密接に連携・協力して福岡県内の働き方改革や地域振興等を推進していくため、同局と「働き方改革に係る包括連携に関する協定」を締結しました。

今後は、本協定に基づき、働き方改革に関するさまざまな情報を発信するなど、福岡県内のお取引先の働き方改革を支援する取組みを行い、これまで以上に地域の活性化や発展に貢献してまいります。



「働き方改革に係る包括連携に関する協定」の締結

GLOBAL CHANNEL

西日本シティ銀行

ニュージールランド銀行

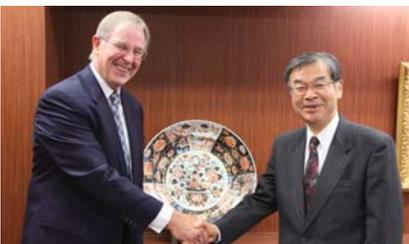
経済ミッション視察団との

意見交換会を開催

西日本シティ銀行は、2018年4月10日、ニュージールランド銀行経済ミッション視察団との意見交換会を開催しました。

日本側からは、久保田会長をはじめ、西日本鉄道の倉富社長ほか福岡経済同友会のメンバーなど8名、ニュージールランド側からは、イアン・ケネディ元駐日ニュージールランド大使など視察団メンバー16名が参加しました。

当日は、久保田会長が日本経済に関する概況などを説明した後、活発な意見交換が行われました。



イアン・ケネディ氏と久保田会長



意見交換会の様子

西日本シティ銀行

NCBプレミア ラウンジを設置

2017年11月、「西日本F H北九州ビル」内に相続や事業承継等に関するご要望やお悩みをご相談いただける特別なラウンジをご用意しました。ゆつたりとした空間の中、何でもお気軽にご相談ください。



NCB プレミアラウンジ

西日本シティ銀行

お客さまからいただいた お手紙をもとに動画を制作

西日本シティ銀行は、お客さまから実際にお寄せいただいたお手紙をもとにスペシャルWebムービー「Thanks for your letter」を制作しました。

楽曲の作詞・作曲・プロデュースは、国民的人気アイドルグループなど、これまで数多くのヒット作を手がけてきた市川嘉康氏、ボーカルには注目のネット系シンガー詩歩さんを起用しました。

切なくもまっすぐに歩んでいく主人公の想いが、等身大の歌詞とサウンドで綴られています。是非、ご覧ください。



「Thanks for your letter」

西日本シティ銀行公式
YouTube チャンネル
Webムービーはコチラ



長崎銀行

西日本シティT T証券

長崎銀行、 西日本シティT T証券の ホームページを全面リニューアル

西日本シティT T証券は2018年3月1日、長崎銀行は4月2日にそれぞれホームページを全面リニューアルしました。

リニューアル後は、トップ画面に目的別のメインメニューを整理するなど、見やすさ、使いやすさを重視したほか、画面のデザインやレイアウトの統一を図りました。

また、スマートフォンで閲覧した場合でも、パソコンと同じデザインで、見やすく操作しやすい「レスポンスデザイン」を採用しました。



長崎銀行ホームページ



西日本シティT T証券ホームページ

フィンテックへの取組み

西日本フィナンシャルホールディングスは、フィンテックをはじめとする先進的な技術を活用し、お客さまの利便性向上に資する金融サービスを充実させるため、さまざまな取組みを行っています。

西日本シティ銀行

「スマホ決済サービスの 実証実験

西日本シティ銀行は、2018年2月26日から3月18日までの期間、NTTデータ及び福岡地所とともに、一般消費者を対象とした「銀行口座を利用したスマホ決済サービス」の実証実験を福岡市内の商業施設「キャナルシティ博多」で行いました。

今後は、九州カード及びNTTデータとともに、加盟店の導入負担を極力廃し、お客さまと加盟店の操作性を重視したサービスの提供など、利便性向上の観点から、さまざまな技術を活用した金融サービスの提供を行ってまいります。



スマホ決済サービス

SERVICE

西日本シティ銀行

「free for 西日本シティ銀行」の提供開始

西日本シティ銀行は、クラウド会計を手がけるfreeと提携し、西日本シティ銀行のお客さま向けに、クラウド会計ソフト「free for 西日本シティ銀行」の提供を2018年3月5日より開始しました。本サービスを利用することで、例えば、入金明細の自動取込が可能となり、帳簿等を簡単に作成することができます。

「free for 西日本シティ銀行」の詳細は西日本シティ銀行のホームページでご確認ください(2018年6月末現在)。



SERVICE

西日本シティ銀行

「西日本シティ銀行アプリ (NCBアプリ)」による 税公金支払サービスの拡大

「西日本シティ銀行アプリ(NCBアプリ)」による宇美町・志免町・須恵町・新宮町の税公金のお支払いサービスを、2018年4月1日より開始しました。本サービスは、お客さまが西日本シティ銀行アプリを利用することにより、いつでも、どこでも、簡単・便利に税公金のお支払いが可能になり、宇美町・志免町・須恵町・新宮町では地域住民サービスの向上が期待されます。

詳細は西日本シティ銀行のホームページでご確認ください(2018年6月末現在)。



西日本シティ銀行

顔認証技術を用いた 本人確認に係る実証実験

西日本シティ銀行は、2018年4月から6月までの期間、店舗内に設置した実証実験端末で、お客さま自身の操作により、「運転免許証」または「マイナンバーカード」から読み取った顔写真データと端末に内蔵されたカメラで撮影した顔写真データを照合して、本人確認を行う実証実験を行いました。

今後は、本実証実験の実施で得たノウハウや知見を活かし、非対面による口座開設、ICキャッシュカードの発行・再発行、住所変更などの利便性向上に資するサービスの提供を目指してまいります。



実証実験端末

西日本シティ銀行

長崎銀行

電子決済等代行業者との 連携及び協働に係る方針

西日本シティ銀行及び長崎銀行は、お客さまのライフスタイルやその時々ニーズに応じた最適なチャネル（ベストミックスのチャネル）の構築に取り組んでいます。

その取組みの中で、西日本シティ銀行及び長崎銀行は、お客さまの利便性の向上を図るべく、外部アライアンス先と積極的に協働しながら、幅広い領域でオープンイノベーションを推進してまいります。

その一環として、お客さまに安心してお取引いただける環境づくりと、お客さまのさらなる利便性向上に向けて、オープンAPIを通じて電子決済等代行業者との連携及び協働を行うため、基本方針を制定しました。詳しくは、西日本シティ銀行及び長崎銀行のホームページでご確認ください。

オープンAPIに係るお問い合わせ
西日本フィナンシャル ホールディングス オープン・イノベーション推進室 西日本シティ銀行 営業企画部 TEL:092-461-2764 メールアドレス open-api@ncbank.co.jp
長崎銀行 総合企画部 TEL:095-829-4109 メールアドレス kikaku@nagasakibank.co.jp

2018年1月、西日本シティ銀行に「業務革新室」を新設しました。

従来の業務のあり方に囚われず、抜本的かつ包括的な業務の再構築を目指しています。

2018年度業務革新の方針

1.業務フローのスリム化

主要施策

- (1)従来にない新たな効率化施策の立案
- (2)各部の業務効率化施策
(現有機能の徹底活用等)の統括

2.ICTを活用したペーパーレス化の推進

主要施策

- (1)行内文書の管理体制の見直し
- (2)ワークフローシステム・複合機の導入

3.本支店職員の意識統一

主要施策

- (1)積極的な情報発信
- (2)あらゆる機会を捉えた意識統一策の展開

事務量を測定し、その変化に対応した基準人員を算出・運用

KPI 2019年度

(現中期経営計画最終年度)

事務量
**500人分
(30%)
削減**

紙使用量
70%削減

目指す姿 2022年度

(次期中期経営計画最終年度)

営業店事務
の極小化

本部事務
の極小化

店舗役割・
機能の明確化

ATM台数の削減・
再配置

渉外営業態勢の
再構築

リソース革新・働き方改革

生産性の高い業務への人員再配置・削減

ESG(環境・社会・ガバナンス)への取組み

私たちは、企業価値の向上と持続可能な社会の実現を目指し、地域金融機関ならではのESGの取組みを推進しています。

AGREEMENT SOCIAL

西日本シティ銀行

柳川市と「移住定住連携協力に関する協定書」を締結

西日本シティ銀行は、2017年10月30日、柳川市の地方創生に係る戦略を支援するため、同市と「移住定住連携協力に関する協定書」を締結しました。

本協定は、柳川市の「住宅取得事業」や「住宅リフォーム事業」と連携協力して移住定住施策を展開し、人口減少の抑制を図るもので、今回、住宅ローンとリフォームローンの金利を優遇し、同市への移住定住促進を支援します。

今後も、西日本FHグループ各社とも連携し、同市の地域活性化に努めてまいります。



「移住定住連携協力に関する協定書」の締結

AGREEMENT SOCIAL

西日本シティ銀行

地域企業の上場を支援 福証と東証と 連携協定を締結

西日本シティ銀行は、地域経済活性化・発展に寄与することを目的に、2017年11月、証券会員制法人福岡証券取引所(以下「福証」と、同年12月には、株式会社東京証券取引所(以下「東証」とそれぞれ連携協定を締結しました。

西日本シティ銀行は、今後、福証・東証と相互に連携・協力することにより、創業から株式上場まで地域企業の成長ステージに応じた支援を進めてまいります。

なお、東証が九州の地域金融機関とこのような連携協定を締結するのは、西日本シティ銀行が初めてです。



「資本市場に関する連携基本協定」の締結

AGREEMENT SOCIAL

西日本シティ銀行

別府市と 「観光振興連携協力に関する協定書」を締結

西日本シティ銀行は、2017年12月21日、別府市の観光振興を軸とした地域活性化を促進するため、同市と「観光振興連携協力に関する協定書」を締結しました。

今後は、西日本FHグループ各社とも連携し、海外からの観光客誘致やキャッシュレス化対応、インバウンドセミナーの開催など、観光業への支援や、観光を軸とした「地域まるごとサポート」の実践を通じた地域活性化に繋がる取組みを行ってまいります。



「観光振興連携協力に関する協定書」の締結

西日本シティ銀行

久留米工業大学と「産学連携協力に関する協定書」を締結

西日本シティ銀行は、2018年2月20日、久留米工業大学と産学連携協力を促進し、相互の発展に資するとともに、地域の発展と大学の教育・研究をはじめとする学術の振興に寄与するため、同大学と「産学連携協力に関する協定書」を締結しました。

今後は、同大学の知見や研究成果を西日本シティ銀行の取引先との共同研究や技術相談にマッチングさせ、地域企業の発展のため産学連携協力事業を進めてまいります。



「産学連携協力に関する協定書」の締結

西日本シティ銀行

「地域まるごとサポート」の展開
地域応援私募債
「つなぐココロ」が大好評

西日本シティ銀行は、2017年2月より、地域応援私募債「つなぐココロ」の取扱いを開始しています。

本私募債は、九州地域の未来を担う子どもたちの学びや成長を支援するため、発行企業が私募債を発行する際の手数料の一部を西日本シティ銀行が寄付金として拠出し、地域の学校等へ、書籍やスポーツ用品等の物品を寄贈する機能がついた社債です。書籍等の寄贈を受けた学校からは、感謝状等をいただくなど、とても喜ばれています。

また、私募債を発行した企業からは、「寄付を通じて地元への社会貢献が実現できてよかった」「母校に恩返しができるよかった」などの言葉をいただいています。



株式会社シンケンハーモニーから福岡市内の特別支援学校8校へiPadを寄贈



TV番組の紹介

西日本シティ銀行は、地元TV局と共同でTV番組を制作し、地域の皆さまに紹介しています。

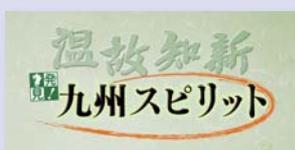


2018年4月から新番組スタート

まちが★スキー

毎週土曜日9:25～9:30
FBS福岡放送で放映中です。

「地域の元気を応援する」をコンセプトに、ひと・まち・しごとにスポットを当て、地域の活性化に向けた様々な取組みを紹介しています。



温故知新
「発見!九州スピリット」
毎週土曜日22時59分より
KBC九州朝日放送にて
放映中です。

進取の気性にとんだ九州人スピリットをテーマに、意外に知られていない人物、出来事、祭りなどの幅広い分野で「知らなかった九州」を紹介しています。



志、情熱企業
毎週土曜日18時50分より
RKB毎日放送にて
放映中です。

地元企業の中で、特徴ある技術力やノウハウ等を持ち、未来に飛躍する地元企業の志と情熱を紹介しています。

西日本シティ銀行

NCBリサーチ&コンサルティング

第11回「久保田勇夫 新春経済講演会」を開催

最新の経済情報を、企業経営や景気の見通しの参考にさせていただくため、2008年より毎年、久保田会長による新春経済講演会を開催しています。

2018年1月の講演会では、「2018年経済・金融の見通し〜世界・日本・そして経済」をテーマに久保田会長がアメリカのトランプ大統領の政策や日本の貿易政策、九州経済の見通しなどについて講演しました。



新春経済講演会の様子



久保田会長

西日本F H

NCB音楽祭2017 「歓喜と喝采」を開催

2017年12月2日、「NCB音楽祭2017〜歓喜と喝采〜」をアクロス福岡で開催しました。この音楽祭は、音楽を通じて年末の福岡の街に活力を届けようと、総監督に広渡勲氏、指揮者に井崎正浩氏を迎え、九州交響楽団など地元ゆかりの音楽家の方々にご協力いただき、開催しているものです。

当日は、西日本FHグループの社員と市民で結成された「NCBフロイデ合唱団」による第九・歓喜の歌の合唱や、ボレロやオペラの曲目でバラエティに富んだ舞台が繰り広げられ、約1500名の鑑賞者により会場は終始喝采の渦に包まれました。



「NCB音楽祭2017〜歓喜と喝采〜」の様子

西日本シティ銀行

長崎銀行

「長崎ランタン フェスティバル」 に参加

2018年2月16日〜3月4日の間、長崎市で「長崎ランタンフェスティバル」が開催されました。

2月17日にメインイベントのひとつである「皇帝パレード」が行われ、西日本シティ銀行長崎支店と長崎銀行の行員が合同で参加しました。



長崎ランタンフェスティバルに参加

西日本シティ銀行

「博多どんたく港まつり」 に参加

2018年5月3日と4日に開催された福岡市民の祭り「第57回博多どんたく港まつり」に参加しました。

今年は天候にも恵まれ、「はかた駅前どんたくストリート」パレードに加えて3年ぶりに「明治通り」パレードも実施されました。西日本シティ銀行の役職員のほか、CM等でもおなじみの若田部遙さんにも参加いただきました。

本店前の演舞台では、谷川頭取による主催者挨拶の後、久保田会長が「ふくはく文化塾のメンバーとして博多にわかを披露しました。そのほかにもさまざまなパフォーマンスにより、博多どんたくを盛り上げました。



どんたくパレード隊



若田部遙さんもパレードに参加





アジア貢献賞受賞の皆さま



アジアKids大賞受賞の皆さま

AWARD

SOCIAL

〔公益財団法人 西日本国際財団〕
**アジア貢献賞・
 アジアKids大賞**
 草の根の国際交流を支援

2018年3月7日に、第19回アジア貢献賞・第13回アジアKids大賞の授賞式を開催しました。

西日本国際財団は、国際相互理解の促進のため、九州・沖縄・山口地域でアジアとの国際交流に貢献している団体及び個人を毎年表彰しています。

併せて、未来を担う子どもたちの国際相互理解を育むため、アジア諸国との国際交流を通じて、国際親善に貢献している小・中学校、子ども団体等の表彰を行っています。

第19回 アジア貢献賞受賞者

団体・受賞者	RK清水(長崎)財団 会長 清水 勝利 氏	木城えほんの郷 みどりのゆりかご協会 村長 黒木 郁朝 氏	NPO 法人ヒーリングファミリー財団 理事長 大垣内 勇 氏
活動地域	フィリピン、長崎県	宮崎県児湯郡木城町	タイ・チェンマイ、佐賀県多久市
活動分野	教育支援、学校建設	教育支援、異文化理解	国際協力、交流活動
活動内容	フィリピンでの小学校建設や教育物資の寄贈による教育支援。	子どもの感性を育む絵本絵画などを通じて韓国、中国、インドなどアジアを中心に交流。	車いすの寄贈や介護技術の伝達により、タイの障がい者を支援。

第13回 アジアKids大賞受賞者

団体・受賞者	ありあけ国際交流協会「ヤングチャレンジ」 代表 児玉 伊左夫 氏	日韓親善子供大使友好の翼実行委員会 実行委員長 山口 紀史 氏
活動地域	フィリピン、アメリカ、熊本県荒尾市	韓国・釜山広域市、鹿児島県霧島市
活動内容	有明高専のアジア留学生との交流。 フィリピンのゴミ山で暮らす子どもたちに関する講話やフィリピンの小学校に物資を送る支援。	25年にわたる日韓の相互ホームステイ活動と友好親善。 国際感覚あふれる青少年の健全育成。

※過去の受賞者等、アジア貢献賞・アジアKids大賞等の詳細は、西日本シティ銀行ホームページの「西日本シティ銀行について」>地域社会貢献活動>公益財団法人 西日本国際財団 からご覧になれます。

AWARD

SOCIAL



経営者賞受賞の皆さま

〔公益財団法人 経営者顕彰財団〕
経営者賞
 地域の優れた
 経営者を表彰

2018年4月26日に、第45回「経営者賞表彰式」を開催しました。

経営者顕彰財団は、九州・山口地域で中小企業の経営・技術に優れた業績をおさめ、地域経済の発展に貢献された経営者を毎年表彰しています。

1973年の開始以来、受賞者は165名にのぼり、受賞者の中には、その後、上場企業に成長された経営者も多く、経営者賞の受賞は地元企業の経営者の大きな励みとなっています。

第45回「経営者賞」受賞者

氏名	岩田 陽男 氏	二又 茂明 氏	山口 毅 氏
企業名職	株式会社岩田産業グループホールディングス 代表取締役会長兼社長 岩田産業株式会社 代表取締役会長	久留米運送株式会社 代表取締役社長	株式会社山口油屋福太郎 代表取締役社長
所在地	福岡県福岡市博多区諸岡	福岡県久留米市東櫛原町	福岡市南区五十川
事業内容	外食産業専門総合食品商社	貨物自動車運送業、 貨物利用運送業、倉庫業、 産廃収集運搬業、損害保険代理業	業務用食品材料卸売業、 明太子卸売小売業、飲食業、 温浴施設運営

※過去の受賞者等、経営者賞の詳細は、西日本シティ銀行のホームページの「西日本シティ銀行について」>地域社会貢献活動>公益財団法人 経営者顕彰財団 からご覧になれます。

西日本シティ銀行

「二人一花」運動を全店で展開中

西日本シティ銀行は、福岡市が展開する「二人一花」運動（※1）に賛同し、店舗の花壇などに花や緑を育て、彩りや潤いにあふれたおもてなしを全店で展開しています。



各店舗での取組事例

（※1）「二人一花」運動とは…市民・行政・一人ひとりが花と緑を育て、公園や歩道、会社、自宅など福岡市のあらゆる場所を花と緑でいっぱいにする取組みです。（福岡市HPより）

西日本シティ銀行

環境配慮型店舗への建替え

2017年度は太陽光発電・雨水再利用・エコガラス・LED照明・省エネ空調等のエコ設備を備えた、環境配慮型店舗に7か店建替えを実施しました。



西日本FH北九州ビル(2017年11月オープン)

西日本FH

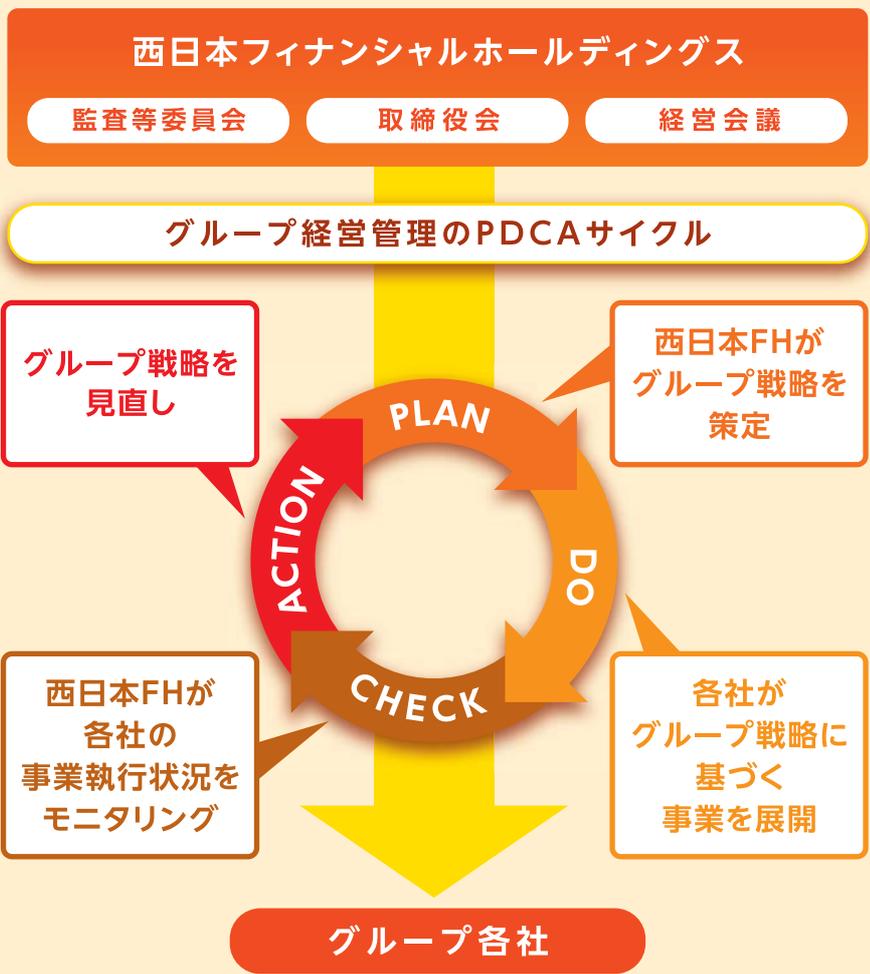
グループ経営管理のPDCAサイクル

監査等委員会設置会社の採用

西日本FH（持株会社）が経営管理に特化し、グループ各社が事業執行に専念することにより、グループ経営管理の高度化を図っています。

- ガバナンスの強化及び迅速かつ効率的な意思決定体制を構築しています。
- 社外取締役を過半数配置することで、監査・監督機能の実効性を確保しています。

西日本フィナンシャルホールディングスがグループ全体を見渡しながら、各社のビジネス分野や地区毎のマーケットの状況を踏まえて経営資源を戦略的に配分し、グループ全体の事業ポートフォリオの最適化を図っています。



安心して向けた 取組み

西日本シティ銀行及び長崎銀行ではインターネットバンキングを利用した不正送金や、二七電話詐欺（振り込め詐欺）等の金融犯罪の被害未然防止に向けた取組みを行っています。

インターネットバンキングのセキュリティ対策強化に向けた取組み

西日本シティ銀行のシステム対策例

NCBダイレクト（個人のお客さま向け）では、普段とは異なるパソコンから接続された場合は「合言葉」による追加認証を行うなどの対策に取り組んでいます。特に、安全性が飛躍的に向上する「ワンタイムパスワード」のご利用を強くお勧めしており、携帯・スマートフォンをお持ちのお客さまにはアプリ（ソフトトークン）を、お持ちでないお客さまにはキーホルダー型のワンタイムパスワード生成機（ハードトークン）をご提



ソフトトークン



ハードトークン

供しています。また、一定金額以上の振込みについてはワンタイムパスワードのご利用を必須としています。NCBビジネスダイレクト（法人・個人事業主のお客さま向け）においても、登録したパソコン以外からは接続できない仕組みに加え、個人のお客さま向けと同様、ソフトトークンやハードトークンで利用可能な「ワンタイムパスワード」がご利用いただけます。

長崎銀行のシステム対策例

ながさきインターネットバンキング（個人のお客さま向け）には、「ワンタイムパスワード」または、「メール通知パスワード」を導入し、いずれかを必ずご利用いただくことで、安全性の向上を図っております。

ながさきビジネスダイレクト（法人・個人事業主のお客さま向け）には、登録したパソコン以外からは接続できない仕組みを導入するとともに、キーホルダー型のワンタイムパスワード生成機（ハードトークン）で利用可能な「ワンタイムパスワード」を必ずご利用いただいています。

お客さまご利用のパソコンへの対策

西日本シティ銀行及び長崎銀行のホームページでは、偽サイトへの誘導

（フィッシング）や、ウイルス（スパイウェア）によるパスワード等の窃取を防止する、「不正送金対策ソフト」を無料でご提供しています。

二七電話詐欺（振り込め詐欺）などの被害未然防止に向けた取組み

携帯電話をしながら、ATMをご利用のお客さまや、窓口でのご出金のお客さまには、金融犯罪被害を防止する観点から、行員がお声かけをさせていただきます。何卒ご理解のほどお願いします。また、私ども職員や警察官が電話や店舗外で、暗証番号や口座番号や残高を尋ねたり、ATMの操作を直接電話で依頼することはありませんので、ご注意ください。

障がいのあるお客さまに配慮した取組み

全ての営業店に1台以上、店舗外ATMコーナーとあわせて、西日本シティ銀行は合計716台、長崎銀行は合計44台の視覚障がい者対応ATMを設置しています（平成30年3月末現在）。また、代筆・代読のご対応を実施しています。詳しくは、お気軽に取引店窓口にお問い合わせください。

西日本シティ銀行のお客さま ご相談・お問い合わせ

●ご意見・苦情

◎西日本シティ銀行お客様サービス室

☎0120-162-105 または **FAX.092-461-1916**

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00

（祝日及び銀行休業日は除きます）

24時間

◎西日本シティ銀行の本支店窓口

●金融犯罪被害に関するご相談（振り込め詐欺・預金不正引出し等）

◎金融犯罪被害に関する相談窓口

☎0120-797-919

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日及び銀行休業日は除きます）

●金融ADR（裁判外紛争解決手続き）制度 指定紛争解決機関

◎全国銀行協会 相談室

TEL.0570-017109 または **TEL.03-5252-3772**

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日及び銀行休業日は除きます）

◎信託協会 信託相談所

☎0120-817335 または **TEL.03-6206-3988**

【受付時間】月～金曜日9:00～17:15（祝日及び銀行休業日は除きます）

●金融円滑化相談窓口

すべての営業店のご融資窓口及びビジネスサポートセンター、NCBいつでもプラザ（インスタブランチ）、ローン営業室においてご相談・お申込みください。

長崎銀行のお客さま ご相談・お問い合わせ

●ご意見・苦情

◎長崎銀行 お客さま相談室

TEL.095-829-4100 または **FAX.095-821-3185**

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00

（祝日及び銀行休業日は除きます）

24時間

◎長崎銀行の本支店窓口

●金融犯罪被害に関するご相談（振り込め詐欺・預金不正引出し等）

◎金融犯罪被害に関する相談窓口（事務部）

TEL.095-816-2211

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日及び銀行休業日は除きます）

●金融ADR（裁判外紛争解決手続き）制度 指定紛争解決機関

◎全国銀行協会 相談室

TEL.0570-017109 または **TEL.03-5252-3772**

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日及び銀行休業日は除きます）

●金融円滑化相談窓口

すべての営業店のご融資窓口及びながさきローンプラザにおいてご相談・お申込みください。

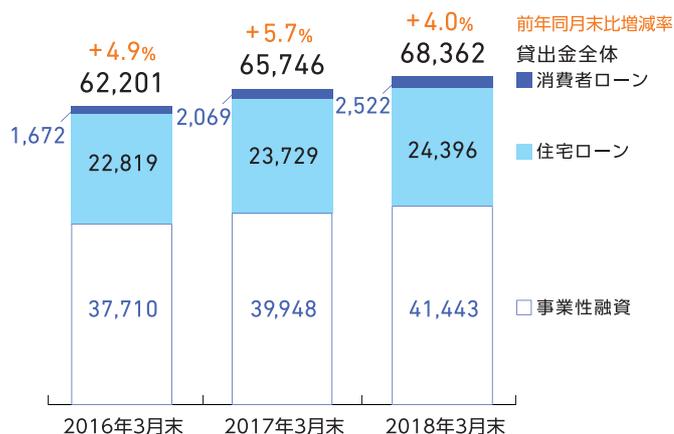
損益の状況

単位:億円	【連結】			【西日本シティ銀行単体】			【長崎銀行単体】		
	2018年3月期	前期比	2017年3月期	2018年3月期	前期比	2017年3月期	2018年3月期	前期比	2017年3月期
業務粗利益	1,179	4	1,175	985	6	979	36	△1	37
資金利益	953	4	949	892	12	880	41	0	41
役務取引等利益	210	3	207	105	6	99	△5	△1	△4
特定取引利益	24	12	12	0	0	0	-	-	-
国債等債券損益	△3	4	△7	△3	4	△7	△0	△0	-
その他業務利益	△6	△19	13	△10	△17	7	-	-	-
経費(除く臨時処理分) △	831	4	827	710	△3	713	33	0	33
実質業務純益	348	1	347	274	8	266	3	0	3
株式等関係損益	26	△27	53	163	47	116	-	-	-
信用コスト △	30	△14	44	19	△9	28	△3	△2	△1
その他臨時損益	△4	14	△18	△7	8	△15	0	0	0
経常利益	339	1	338	411	72	339	6	1	5
特別損益	△15	△1	△14	△14	0	△14	△0	△0	0
法人税等 △	101	11	90	79	7	72	1	0	1
非支配株主に帰属する当期純利益 △	7	△4	11						
当期純利益(連結は親会社株主帰属分)	214	△8	222	316	65	251	5	1	4

貸出金

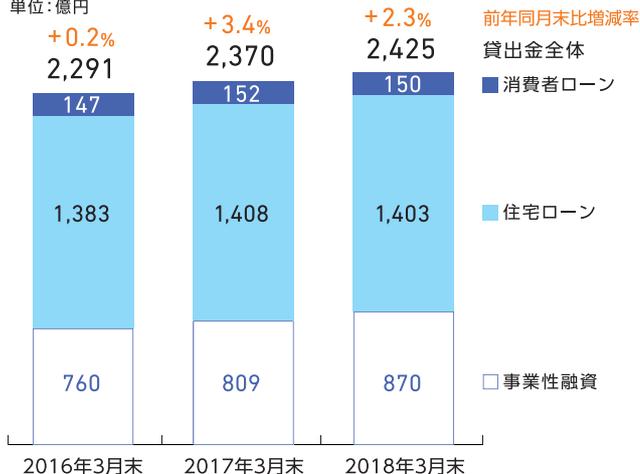
【西日本シティ銀行単体】

単位:億円



【長崎銀行単体】

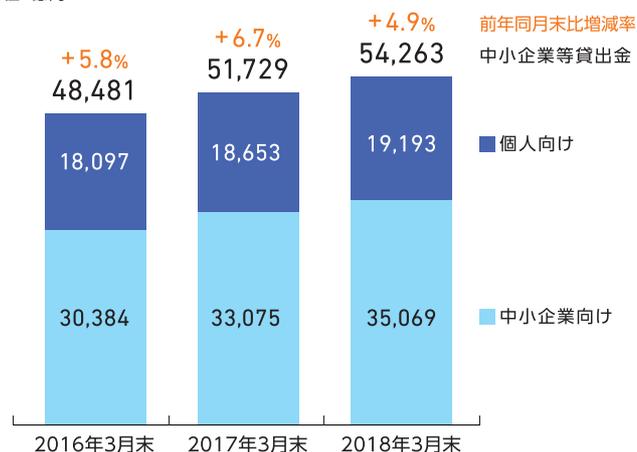
単位:億円



中小企業等貸出金

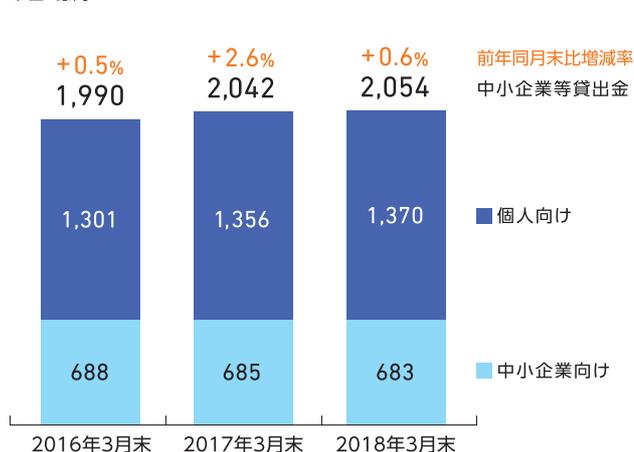
【西日本シティ銀行単体】

単位:億円



【長崎銀行単体】

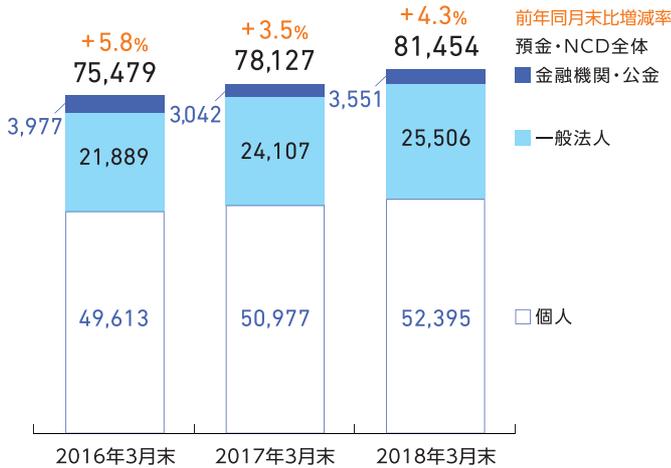
単位:億円



預金・NCD

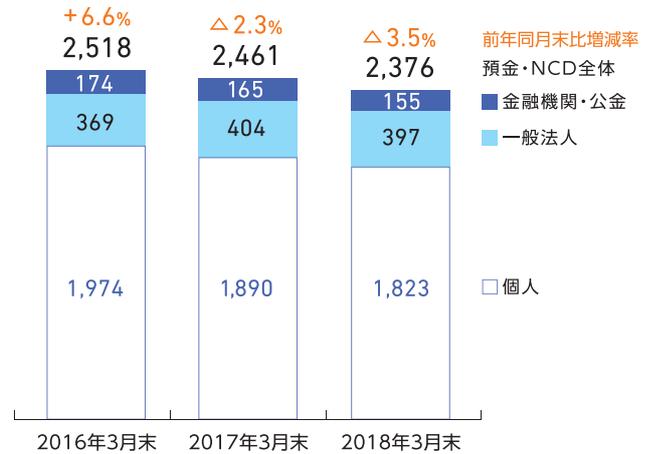
【西日本シティ銀行単体】

単位：億円



【長崎銀行単体】

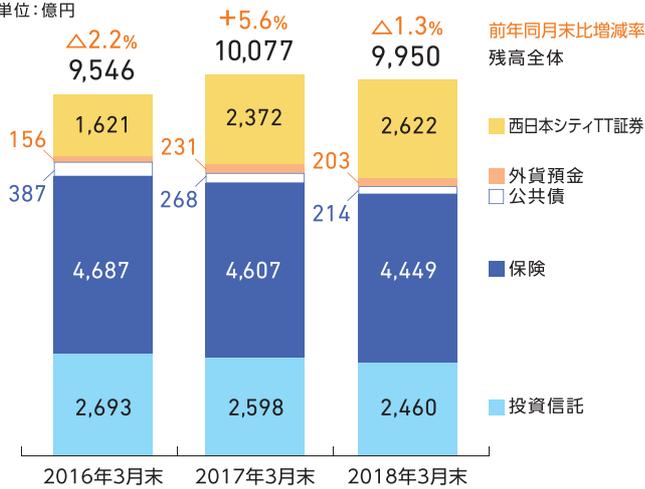
単位：億円



預り資産の残高

【グループ合算】

単位：億円

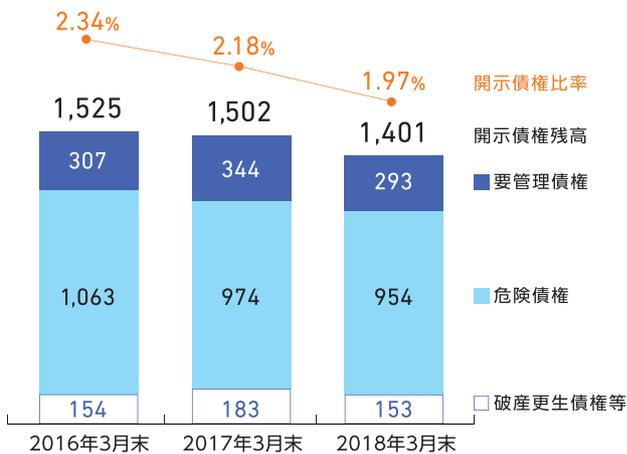


(注) 投資信託、保険、公共債、外貨預金は西日本シティ銀行および長崎銀行の合算

金融再生法開示債権

【連結】

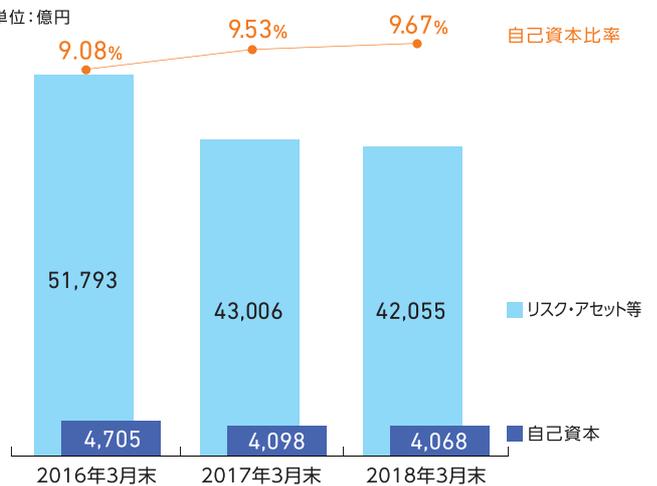
単位：億円



自己資本比率

【連結】

単位：億円



(注) リスク・アセット等の算出において次の手法を採用しています。
 信用リスク・アセット額 { 2017年3月末・2018年3月末…基礎的内部格付手法
 { 2016年3月末…標準的手法
 オペレーショナル・リスク相当額…粗利益配分手法

プロフィール

●株式会社 西日本フィナンシャルホールディングス

設立日	2016年10月3日		
本店所在地	福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号		
代表者	取締役社長(代表取締役) 谷川 浩道		
事業内容	銀行持株会社		
資本金	500億円	上場証券取引所	東京証券取引所及び福岡証券取引所
決算期	3月31日	単元株式数	100株

グループ会社の概要

●株式会社 西日本シティ銀行

設立日	1944年12月1日		
本店所在地	福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号		
代表者	取締役頭取(代表取締役) 谷川 浩道		
事業内容	銀行業		
店舗数	183か店		
従業員数	3,720名		
総資産	9兆6,826億円		
資本金	857億円		
総預金	8兆1,454億円		
総貸出金	6兆8,362億円		
預り資産残高	6,863億円		

●株式会社 長崎銀行

設立日	1912年11月11日		
本店所在地	長崎市栄町3番14号		
代表者	取締役頭取(代表取締役) 山本 一雄		
事業内容	銀行業		
店舗数	23か店		
従業員数	251名		
総資産	2,780億円		
資本金	61億円		
総預金	2,376億円		
総貸出金	2,425億円		
預り資産残高	463億円		

●九州カード 株式会社

本店所在地	福岡市博多区博多駅前四丁目3番18号 サンライフセンタービル		
代表者	取締役社長(代表取締役) 小石原 洸		
事業内容	クレジットカード業・信用保証業		
総資産	445億円		
資本金	1億円		
会員数	887千人	加盟店数	51千店
カード取扱高	3,124億円	保証残高	1,237億円

●西日本シティTT証券 株式会社

本店所在地	福岡市博多区博多駅前一丁目3番6号		
代表者	取締役社長(代表取締役) 坂口 淳一		
事業内容	金融商品取引業		
総資産	132億円		
資本金	30億円		
預り資産残高	2,622億円		

●株式会社 NCBリサーチ&コンサルティング

本店所在地	福岡市博多区下川端町2番1号 博多座・西銀ビル13階		
代表者	取締役社長(代表取締役) 石田 保之		
事業内容	調査研究業・経営相談業		
総資産	7億円		
資本金	0.2億円		
会員数	4千社		

●九州債権回収 株式会社

本店所在地	福岡市博多区博多駅前二丁目5番19号 サンライフ第三ビル3階		
代表者	取締役社長(代表取締役) 北崎 道治		
事業内容	債権管理回収業		
総資産	33億円		
資本金	5億円		

●西日本信用保証 株式会社

本店所在地	福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号		
代表者	取締役社長(代表取締役) 石田 保之		
事業内容	信用保証業		
総資産	152億円		
資本金	0.5億円		
保証残高	1兆2,293億円		

●Jペイメントサービス 株式会社

本店所在地	福岡市博多区博多駅前四丁目3番18号 サンライフセンタービル		
代表者	取締役社長(代表取締役) 大原 雅彦		
事業内容	決済代行業		
総資産	1.4億円		
資本金	1億円		

●株式会社 NTTデータNCB

本店所在地	福岡市博多区博多駅前一丁目17番21号 NTTDATA博多駅前ビル7階		
代表者	取締役社長(代表取締役) 狩野 芳徳		
事業内容	情報システムサービス業		
総資産	35億円		
資本金	0.5億円		

グループストラクチャー



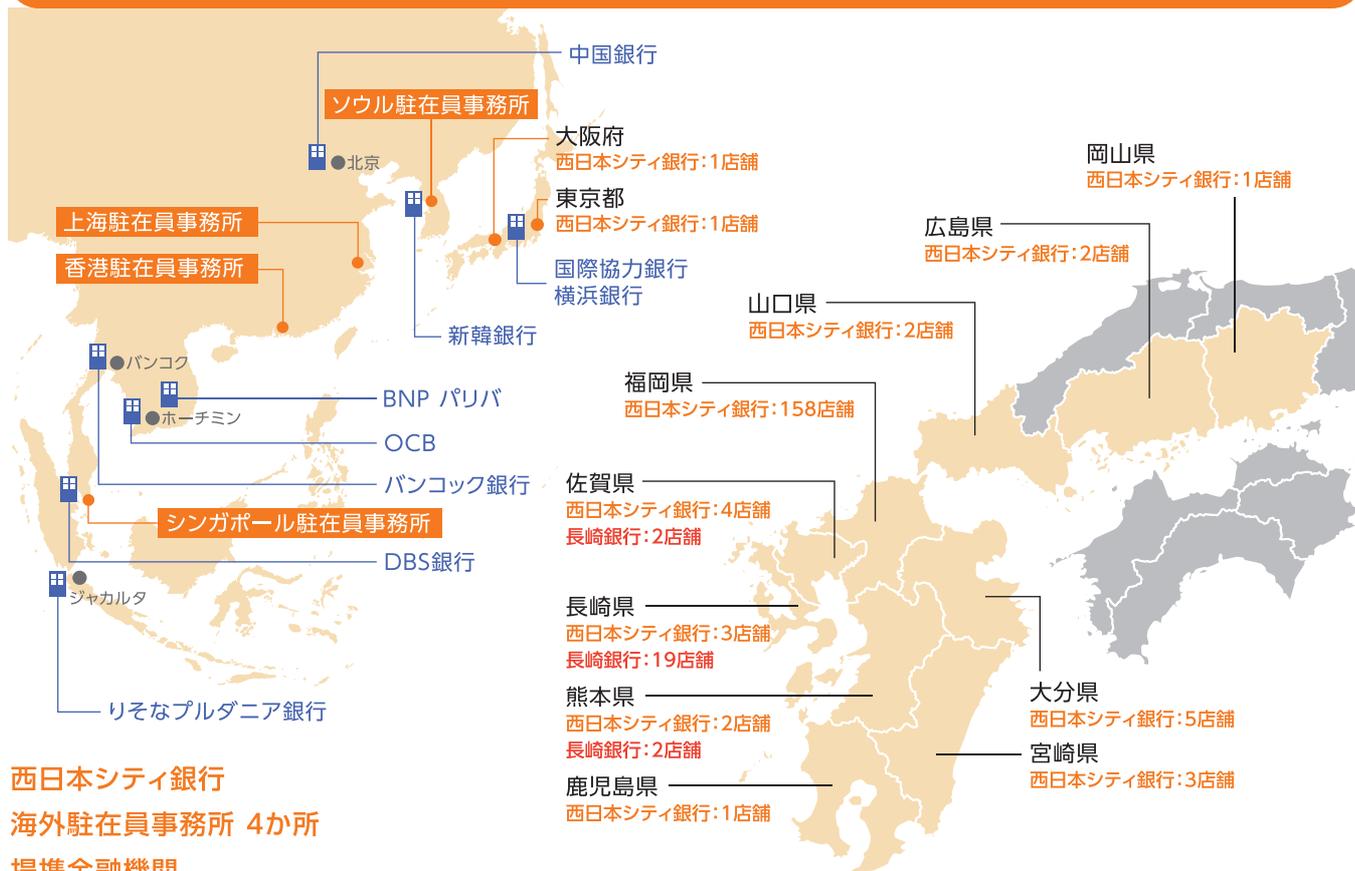
※本店所在地・代表者・事業内容は2018年3月末時点です。

※代表者は2018年6月末時点です。

※各種計数は2018年3月末時点の単体計数です(ただし、九州カード(株)のカード取扱高は2017年度の計数)。

※(株)NTTデータNCBは持分法適用の関連会社です。

ネットワーク



西日本シティ銀行

海外駐在員事務所 4か所

提携金融機関

- りそなプルダニア銀行(インドネシア) 1996年提携
- 中国銀行(中国) 2001年提携
- 国際協力銀行(日本) 2001年提携
- 新韓銀行(韓国) 2007年提携
- OCB(ベトナム) 2008年提携
- BNPパリバ(ベトナム) 2008年提携
- バンコック銀行(タイ) 2009年提携
- 横浜銀行(日本) 2016年提携
- DBS銀行(シンガポール) 2017年5月提携

西日本シティ銀行 183店舗
ATM 1,373台

店舗内/860台 店舗外/513台
※コンビニATM除く

西日本シティTT証券 19拠点

福岡県/9店舗・7サテライトブース
宮崎県/1店舗 熊本県/1店舗 鹿児島県/1店舗

長崎銀行 23店舗
ATM 44台

店舗内/30台 店舗外/14台
※コンビニATM除く

(2018年3月末現在)

株式のご案内

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年とします。
- 定時株主総会 6月に開催します。
- 配当金の
お支払いについて 【期末配当金】3月31日の最終の株主名簿に記録された株主に対してお支払いします。
【中間配当金】取締役会の決議によって中間配当を行う場合は、9月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対してお支払いします。
配当金のお受取りには、預金口座への振込をご利用いただけますと、速くて便利です。当社グループ会社の西日本シティ銀行・長崎銀行を是非ご利用ください。
- 基準日 定時株主総会については3月31日とします。その他必要があるときは、あらかじめ公告します。
- 公告方法 電子公告による公告とし、当社ホームページ(<http://www.nnfh.co.jp>)に掲載します。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、西日本新聞と日本経済新聞に掲載します。
- 株主名簿管理人
及び特別口座の
口座管理機関 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
(1) 事務取扱場所 福岡市中央区天神二丁目14番2号 日本証券代行株式会社 福岡支店
TEL 092-741-0284
(2) お問い合わせ先 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
日本証券代行株式会社 代理人部/0120-707-843(フリーダイヤル)
- ご注意 株主様の住所変更、買増・買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっています。
口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

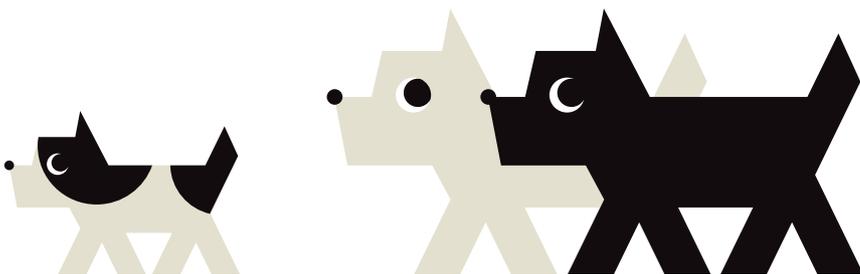
※本誌に関する計数につきましては、原則として単位未満を切り捨てて表示しています。

2018年7月発行
株式会社西日本フィナンシャルホールディングス 経営企画部 総務広報グループ
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号
TEL 092-476-5050(代表) ホームページ <http://www.nnfh.co.jp>



西日本フィナンシャルホールディングス

<http://www.nnfh.co.jp/>



©GROOVISIONS

西日本シティ銀行ソーシャルメディア
公式アカウント



@ncbankofficial



@ncbank_official